

## 今日の道徳の授業について

平成28年11月12日（土）第1校時

渋谷区立西原小学校

第4学年1組 担任 上山 裕子

2組 担任 中島 進介

3組 担任 境 英章

◇今日の主題 命のたいせつさ D 主として生命や自然、崇高なもののかかわりに関すること

◇今日の資料 「ヒキガエルとロバ」

◇今日のねらい 生命の尊さを知り、生命あるものすべてを大切にしようとする心情を育てる。

◇主題について

本資料には、アドルフたち3人の男の子が登場する。学校の帰りにヒキガエルを見つけ、石を当てようと投げているところへ、荷車を引いたロバがやって来る。ロバは足下にいる傷ついたヒキガエルに気が付く。農夫からムチで叩かれながらも、荷車でヒキガエルをひき殺さないように足をふんばり、ヒキガエルのいるくぼみをよけて、通り過ぎる。その一部始終を見ていたアドルフたちは、ロバの行動に心を揺り動かされるという話である。場面構成が分かりやすく、登場人物の心の動きもとらえやすい資料である。また、この3人の行動の基となっている、嫌なものを排除しようとする心は、多かれ少なかれ、誰もがもっているものであると言える。このことに気付かせその上で、本時のねらいに迫っていきたい。

◇今日の学習の流れ

導入	○ヒキガエルとロバが見つめ合う場面絵を見て、どんな場面か想像する。
展開	○資料「ヒキガエルとロバ」を読む。 ①ヒキガエルに石をぶつけているアドルフ達は、どんな気持ちだったか。 ・ どんどん投げちゃえ。 ・ 気持ちが悪いからいいや。 ・ どっかにいけばいい。 ②「友達を見るような目でじっと見つづける」ロバは、どんな気持ちだったか。 ・ 何かあった？ ・ かわいそう。 ・ 大丈夫かな。 ③石がしずかにすべり落ちていったとき、アドルフはどんな気持ちだったか。 ・ ロバは優しいな。 ・ いじめなければよかった。 ④身近な生き物の命について考える。 ・ 木や花も大切にする。 ・ 動物をいじめてはいけない。 ⑤今日の授業で感じたいことや考えたことをワークシートに書く。
終末	○教師の説話を聞く。